

ベネズエラ・ボリバル共和国における地上デジタルテレビ放送日本方式の  
実施に関する覚書の署名

【平成21年10月7日の総務省報道資料から】

現地時間10月6日午前（日本時間7日未明）、ベネズエラ・ボリバル共和国は同国における地上デジタルテレビ放送方式の規格として日本方式（ISDB-T方式）の採用を決定したことを発表し、これを受け、総理特使として同国を訪問中の内藤総務副大臣は、チャコン・ベネズエラ科学技術・中工業大臣との間でベネズエラ・ボリバル共和国における地上デジタルテレビ放送日本方式の実施に関する覚書の署名を行いました。

1 ベネズエラ政府による日本方式（ISDB-T方式）の採用

- (1) 総務省は、関係省庁、放送事業者、メーカー、研究機関等と連携しつつ、専門家を派遣してのセミナー開催、送信機などを搬送しての試験放送の実施、日本の普及状況を把握してもらうためのベネズエラ関係者の我が国への招聘などの働きかけを継続して行ってきたところです。
- (2) この結果、ブラジル、ペルー、アルゼンチン、チリに引き続き、今般、ベネズエラがISDB-T方式の採用を決定し、同国におけるISDB-T方式の実施に関する覚書の署名が行われました。

2 総務省の今後の取組

- (1) 総務省は、関係機関と連携の上、今回署名した覚書に沿って、ベネズエラにおけるISDB-T方式の円滑な導入に向けて、技術委員会を設置し、技術協力、人材育成等の支援を実施していく予定です。
- (2) 今後とも、ブラジル、ペルー、アルゼンチン、チリ、ベネズエラと連携しつつISDB-T方式の更なる海外普及に努めていきます。

(参考資料)

1 日本方式（ISDB-T (Integrated Services Digital Broadcasting - Terrestrial) )

国際標準となっている地上デジタルテレビジョン放送の規格には、日本方式（ISDB-T方式）、欧州方式（DVB-T方式）、米国方式（ATSC方式）の3方

式が存在します。ISDB-T方式は他の方式に比べて、電波障害や干渉に強く、移動時でも受信が良好であるといった技術的な優位性があること、また携帯端末向け放送（ワンセグ）とハイビジョン伝送が一つの送信機で伝送可能であり全体のコストが安くなり経済的であること等の優位性があります。ブラジルでは2006年6月にISDB-T方式を採用し、2007年12月から放送開始しており、現在<sup>23</sup>都市（人口カバー率<sup>65%</sup>以上）で放送されています。ペルーでは2009年4月に、アルゼンチンでは同年8月に、そしてチリでは同年9月にISDB-T方式が採用され、早期の放送開始を目指しています。

## 2 日本方式の海外展開の状況

日本は、既に採用しているブラジル、ペルー、アルゼンチン、チリと連携して、未だ方式決定をしていない南米諸国（エクアドル、ボリビア、パラグアイ等）に働きかけています。アジアではフィリピンに採用を働きかけています。

詳細は、<[http://www.soumu.go.jp/menu\\_news/s-news/02ryutsu08\\_000019.html](http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/02ryutsu08_000019.html)>をご参照下さい。

## ARIBの動き

### 「電波の安全性に関する説明会」を開催 ～安全で安心な電波利用環境に向けて～

10月2日に総務省関東総合通信局及び当会の主催による「電波の安全性に関する説明会」をワークピア横浜（神奈川県横浜市）において開催しました。

本説明会は、電波の安全性に関する基礎知識及び最新の研究成果を政策担当者、研究者等から説明いただくことにより一般の方々に周知するために、各地域の総合通信局との共催で開催しています。

今回の説明会では、総務省関東総合通信局の武内信博局長からの主催者挨拶の後、3名の講師の方から電波利用環境の整備のための施策及び電波の安全性について、行政、工学及び医学の立場から、一般の方に大変わかりやすいご説明をいただきました。

当日は会場の定員いっぱいのご来場があり、行政に対する質問や研究内容に対する質問等、質疑応答が活発に取り交わされました。

今回の講演内容は、以下のとおりです

#### 講演1 「安心して電波を利用するために」

総務省 総合通信基盤局 電波部 電波環境課 課長補佐 斉藤 康弘 氏

#### 講演2 「身の回りの電波と健康への影響について」

首都大学東京大学院 理工学研究科 教授 多氣 昌生 氏

#### 講演3 「高周波電磁波の生体に及ぼす影響について」



電波の安全性に関する説明会の会場の様子と  
武内局長、斉藤課長補佐、多氣教授、名川教授（左から）

## 総務省からのお知らせ

### 携帯端末向けマルチメディア放送に係る参入希望調査の実施

【平成21年10月1日の総務省報道資料から】

総務省では、携帯端末向けマルチメディア放送の実現に向けた制度整備を検討する上での基礎的な調査として、現時点で参入を希望している方の状況について、平成21年10月1日(木)から同年11月2日(月)までの間、調査を実施します。

#### 1 本調査の位置付け

本調査は、携帯端末向けマルチメディア放送の実現に向けた制度整備を検討する上での参考とさせていただくための基礎的な調査として実施するものであって、あくまで任意の調査であり、本調査への対応によって実際の申請の可否・内容が拘束されるものではありません。また、本調査に応じていただいたことをもって参入が認められるものでもありません。

実際の申請については、別途意見募集を経て所要の制度整備を行った上で、申請を受け付け、法令に基づき審査を行うこととなります。

#### 2 実施期間

平成21年10月1日(木)～同年11月2日(月)

#### 3 対象者

携帯端末向けマルチメディア放送に係る受託国内放送を行おうとする者及び

## 委託放送業務を行おうとする者

### 4 調査項目

受託国内放送に係る調査票

【別添1】 <[http://www.soumu.go.jp/main\\_content/000039718.pdf](http://www.soumu.go.jp/main_content/000039718.pdf)>

委託放送業務に係る調査票

【別添2】 <[http://www.soumu.go.jp/main\\_content/000039719.pdf](http://www.soumu.go.jp/main_content/000039719.pdf)>

※記載要領については別

紙1<[http://www.soumu.go.jp/main\\_content/000039716.pdf](http://www.soumu.go.jp/main_content/000039716.pdf)>のとおり。

### 5 提出方法

別紙2<[http://www.soumu.go.jp/main\\_content/000039717.pdf](http://www.soumu.go.jp/main_content/000039717.pdf)>のとおり。

詳細は、<[http://www.soumu.go.jp/menu\\_news/s-news/02ryutsu07\\_000019.html](http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/02ryutsu07_000019.html)>をご参照下さい。

「アナログ放送終了リハーサル」における完全停波等の日時決定  
石川県珠洲中継局を平成22年7月24日正午に完全停波

【平成21年10月1日の総務省報道資料から】

総務省では、関係者とともにアナログ放送終了リハーサル推進委員会を設置し、石川県珠洲市においてアナログ放送終了リハーサルを実施中です。

この度、平成22年1月22日正午から同年1月24日正午までの間、珠洲中継局から放送しているアナログ放送を休止又は停波（以下「長時間休止等」という。）するとともに、平成22年7月24日正午に完全停波をすることとしましたので、お知らせします。

地上テレビ放送は、平成23年(2011年)7月24日に、アナログ放送を終了し、デジタル放送に完全移行します。

総務省では、関係者とともに、このアナログ放送が終了するということを国民に明確に御理解いただくとともに、アナログ放送終了に当たっての諸課題を抽出し、必要な対応を明らかにするために、アナログ放送終了リハーサルに取り組んでいます。

本年3月にアナログ放送終了リハーサル推進委員会を設置し、4月にリハーサルの実施地を石川県珠洲市に決定するとともに、7月には珠洲中継局のアナログ放送を1時間休止しました。

この度、平成22年1月22日正午から同年1月24日正午までの間、珠洲中継局から放送しているアナログ放送を長時間休止等するとともに、平成22年7月24日正午に完全停波をすることとしましたので、お知らせします。

また、長時間休止等の実施までに、対象地域において十分な周知を実施すると

ともに珠洲中継局エリア（珠洲市及び能登町の一部）でアナログ放送を視聴している世帯・事業所を対象に、簡易デジタルチューナーの貸与を行います。  
なお、珠洲市におけるケーブルテレビ加入者については、長時間休止等及び完全停波にかかわらず、能越ケーブルネット株式会社が「デジアナ変換」送信を行う予定であり、アナログテレビでのデジタル放送視聴が可能となる予定です。

詳細は、<[http://www.soumu.go.jp/menu\\_news/s-news/02ryutsu09\\_000046.html](http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/02ryutsu09_000046.html)>をご参照下さい。

## 編集後記

---

高校生の娘から「数学を教えて欲しい。」と頼まれたのですが、30年以上前に解いたはずの問題が、まったく解けなくなっていました。

これではまずいと、最近は通勤電車の中で数学の学習参考書を読んでいます。おかげで、数学に関しては少しずつ記憶が戻ってきて、娘への対応ができるようになってきました。

ただ、中学生の子に解法を問われる数学の問題は、以前から問題なく即答できているので、小職の場合、高校以後の数学の解法がきちんと記憶に定着していないようです。

一方、元々大嫌いだった社会（特に地理）に関しては、中学生レベルの質問にも回答できなかったため、子供たちからは全く相手にされなくなりました。

その結果、社会を教えるのは自然に家内の役目となりました。

（編集子:PAO）

[ページの先頭に戻る ▲](#)